

政策 51 雇用環境の充実

施策 01 企業誘致の促進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
企業	企業誘致が促進され、雇用機会が創出されています。

施策の成果状況と評価

指標	誘致企業数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		【商工労政課】	社	0	1	1	→	☂ (低下)
評価	(状況) 誘致企業数は1社で、市外企業の立地でした。第7次総合計画開始からの累計は、3社です。 (原因) 1件の立地は、電気・機械部品製造の企業であり、平成28年4月1日に「工場等立地促進条例」を改正し、県内最大の支援制度としたためと考えられます。		(社) 				目標 達成度	---

指標	誘致企業による雇用数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		【商工労政課】	人	0	11	21	→	☂ (低下)
評価	(状況) 誘致企業からの工場設置届出による雇用数は21人です。第7次総合計画開始からの累計は38人です。 (原因) 電気・機械部品製造の市外企業が1社立地したことによるものです。		(人) 				目標 達成度	---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 新規企業の立地促進

基本事項 02 先進医療・再生可能エネルギー関連産業の誘致

基本事項01 新規企業の立地促進

指標	マッチングによる誘致企業数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【商工労政課】	社	0	1	0	→
評価	(状況) マッチングによる企業の立地はありませんでした。第7次総合計画開始からの累計は1社です。 (原因) マッチングの状況については、福島県工業開発条例に基づく「工場設置届け出」の際の聞き取りにより確認していますが、今年度立地した市外企業1社は、マッチングによるものではありませんでした。						目 標 達 成 度

基本事項02 先進医療・再生可能エネルギー関連産業の誘致

指標	先進医療・再生可能エネルギー関連誘致企業数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【商工労政課】	社	0	0	0	→
評価	(状況) 先進医療・再生可能エネルギー関連企業の立地はありませんでした。第7次総合計画開始からの累計は1社です。 (原因) 医療関連・再エネ関連企業に対して、立地意向調査を実施するなどして、企業誘致を図っていますが、立地はありませんでした。医療、再エネ関連産業は、これからの成長産業分野であり、企業においては、まだ調査研究段階にあるものと推察されます。						目 標 達 成 度

政策 51 雇用環境の充実

施策 02 雇用の維持と確保

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
勤労者・求職者（市民）	勤労者が継続的に雇用され、求職者の雇用が維持・確保されています。

施策の成果状況と評価

指標	ハローワーク須賀川管内の月間有効求人倍率（年平均）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	倍	1.13	1.02	1.07	→
評価	（状況）月間有効求人倍率は1.07倍です。平成25年度以降は1倍を超え、目標値である0.85を上回っています。平成28年度県全体の有効求人倍率は1.43であり、当管内は若干低くなっています。 （原因）人手不足である医療・介護職員、輸送・機械運転手などの分野における求人が多いため、倍率は1倍を上回っていると考えられます。						☀️ 目標達成度 ☀️ (達成)

指標	ハローワーク須賀川管内の月間有効求職者数（年平均）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	人	1,986	2,156	2,091	→
評価	（状況）月間有効求職者数は近年2,000人前後で推移していますが、平成28年度は2,091人であり、前年度に比べ65人減少しています。 （原因）JT旧東日本原料本部の規模縮小など社会経済情勢の変化に伴う企業の合理化などにより、求職者は年度ごとに変動します。最近の傾向としては、在職中に求職票を出す人が増加しています。						☀️ 目標達成度 ---

指標	ハローワーク須賀川管内の就職率（年平均）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	%	45.3	44.0	40.1	→
評価	（状況）ハローワーク須賀川管内の就職率は40.1%です。就職率は、年度ごとに多少の増減はありますが、概ね40%台とやや低い水準で推移しています。 （原因）就職率は、企業の経営状況などに大きく左右されるため、これらが大きく影響していると考えられます。また、月間有効求人倍率が1倍を上回っており、求人数も減少していない状況の中で就職率が低いのは、雇用のミスマッチも要因と考えられます。						☔️ 目標達成度 ---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 中高年齢者・障がい者などの雇用促進

基本事項 02 若年労働者・中途就職希望者の就業支援

基本事項01 中高年齢者・障がい者などの雇用促進

指標	ハローワーク須賀川管内の中高年齢者の就職件数（年間）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		【商工労政課】	件	953	1,010	954	→	☂ (低下)
評価	<p>(状況) ハローワーク須賀川管内の中高年齢者の就職件数は954件で、前年度に比べ56件減少しています。年度ごとに増減はありますが、概ね950件から1,000件程度で推移しています。</p> <p>(原因) 就職件数は、企業の経営状況などに大きく左右されますが、平成28年度は全年齢層の件数も減少しているため、これらが大きく影響していると考えられます。また、求人件数は減少していない状況の中で、就職件数が減少しているのは、雇用のミスマッチが考えられます。</p>						目標 達成度	---

基本事項01 中高年齢者・障がい者などの雇用促進

指標	ハローワーク須賀川管内の障害者雇用率（6月現在）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		【商工労政課】	%	1.69	2.24	1.90	→	☀ (向上)
評価	<p>(状況) ハローワーク須賀川管内の障害者雇用率は1.90%で、前年度に比べ0.34ポイント低下しています。平成28年度の県平均は1.90%、全国平均は1.92%であり、当管内はそれと同程度になっています。</p> <p>(原因) 国が障害者雇用促進法を平成25年4月、平成27年4月に改正し、障害のある人の雇用対策を総合的に推進しており、企業の理解等も進んでいるためと考えられます。</p>						目標 達成度	---

基本事項02 若年労働者・中途就職希望者の就業支援

指標	ハローワーク須賀川管内の若年者の就職件数（年間）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき	
		【商工労政課】	件	2,027	1,927	1,740	→	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 中高年齢者以外の若年者の就職者件数は1,740件で、前年度に比べ187件減少しています。この数値は一般求職者であり新規学卒者は含まれておらず、平成26年度以降減少傾向にあります。</p> <p>(原因) 就職件数は、企業の経営状況などに大きく左右されますが、平成28年度は全年齢層の件数も減少しているため、これらが大きく影響していると考えられます。また、求人件数は減少していない状況の中で、就職件数が減少しているのは、雇用のミスマッチが考えられます。</p>						目標 達成度	---

政策 51 雇用環境の充実

施策 03 労働者福祉の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
勤労者（市民）	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の理念に基づき、勤労者が生きがいを持ち、安心して働くことができる労働環境が実現しています。

施策の成果状況と評価

指標	ワーク・ライフ・バランスを保つための施策を実施している企業の割合 【商工労政課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき								
		%	27.8	23.5	24.7	→	☂ (低下)								
評価	<p>（状況）ワーク・ライフ・バランスを保つための施策を実施している企業の割合は24.7%です。完全週休2日制度、年次有給休暇制度、育児休業制度のすべてを採用している企業は、平成26年度は65社、平成27年度は48社、平成28年度は56社となりました。本数値は事業所に対するアンケート調査によるもので、回答率も3割程度であることから、増減は統計の誤差であり、実際はほぼ横ばいと考えられます。</p> <p>（原因）年次有給休暇及び育児休業制度は多くの事業所で導入していますが、完全週休2日制度の導入率は3割程度であるため、ワーク・ライフ・バランス関連施策の導入企業の割合は低くなっていると考えられます。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"> <caption>実績値推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>27.8</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>23.5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>24.7</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	H26	27.8	H27	23.5	H28	24.7	目標達成度
		年度	実績値 (%)												
H26	27.8														
H27	23.5														
H28	24.7														

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 労働条件の改善

基本事項 02 勤労者福利厚生の実施

基本事項01 労働条件の改善

指標	年次有給休暇制度実施事業所割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	%	92.3	90.7	91.6	→
評価	(状況) 年次有給休暇制度実施事業所割合は91.6%で、平成24年度以降徐々に上昇しており、直近3年は90%台で推移しています。 (原因) 年次有給休暇の付与は、ほとんどの事業所で実施していると考えられます。						目標達成度 ---

基本事項01 労働条件の改善

指標	育児休業制度の有無の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	%	73.6	81.9	77.5	→
評価	(状況) 育児休業制度実施事業所の割合は77.5%で、平成24年度以降着実に上昇してきたものの、実績値は前年度を若干下回りました。 (原因) 育児休業制度は法律で定められているものの、市内企業の多くは中小企業であり、家族的な経営や従業員の高齢化などにより育児休業制度対象者がいないことや制度趣旨徹底が図られていないことなどが要因の一つと考えられます。						目標達成度 ---

基本事項02 勤労者福利厚生の実施

指標	市勤労者互助会会員数(年度末)	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	人	158	180	221	→
評価	(状況) 市勤労者互助会会員数は221人となり、平成24年度以降年々増加傾向にあります。特に、平成28年度は会社単位での加入などにより、加入者が大幅に増加しました。 (原因) 男性が63%、女性が37%で、年代別では40歳代、50歳代、60歳代がそれぞれ25%程度となっており、事業主をはじめ各世代に周知が図られたものと考えられます。						目標達成度 ---

基本事項02 勤労者福利厚生の実施

指標	週休2日制度実施割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【商工労政課】	%	31.9	33.3	28.2	→
評価	(状況) 完全週休2日制度を実施している事業所の割合は28.2%です。平成24年度基準値の21.6%に比べると年々上昇傾向にありますが、概ね30%前後で推移しています。また、年次有給休暇制度や育児休業制度に比べ、実施割合はかなり低くなっています。 (原因) 市内企業の多くは中小企業であり、取引先企業との需給関係や社会経済状況等により影響を受けやすいことが要因の一つと考えられます。						目標達成度 ---

政策 52 農林業の振興

施策 01 農林業生産環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
農業者	持続的発展のために、耕作が継続され、効率的な農業経営が推進できます。

施策の成果状況と評価

指標	耕作面積	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき									
		【農政課】	ha	8,284	8,280	8,326		☀ (向上)								
評価	<p>(状況) 耕作面積は、耕作放棄地が33ha解消され、また、前田川地区基盤整備事業により13haが農用地に編入されたことから8,326haとなり、前年度に比べ46ha増加しました。 (原因) 平成28年度は荒廃農地調査により営農中の農地の確認が進み耕作面積が増加しました。また、前田川地区において、基盤整備事業に伴い、農用地に認定されていなかった農地を農用地に編入したことも要因となりました。</p>		<table border="1"> <caption>耕作面積 (ha)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>8,284</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8,280</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>8,280</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>8,326</td> </tr> </tbody> </table>			年度	実績値	H25	8,284	H26	8,280	H27	8,280	H28	8,326	☀ (向上)
年度	実績値															
H25	8,284															
H26	8,280															
H27	8,280															
H28	8,326															
							■ (高)									

指標	一戸当たりの農業所得	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき									
		【農政課】	円	418,675	169,524	562,529	➔	☀ (向上)								
評価	<p>(状況) 一戸当たりの農業所得額は562,529円で、前年度に比べ3倍以上となり、大幅に増加しました。(平成28年度の農業所得額は、平成27年の収入額から算出しています。) (原因) 平成27年度農業所得は、26年産米価が9,815円/俵と大幅に下落したため低下しましたが、平成28年度農業所得は、27年産米価が12,029円/俵と回復したため向上しました。</p>		<table border="1"> <caption>一戸当たりの農業所得 (円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>418,675</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>169,524</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>169,524</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>562,529</td> </tr> </tbody> </table>			年度	実績値	H25	418,675	H26	169,524	H27	169,524	H28	562,529	☀ (向上)
年度	実績値															
H25	418,675															
H26	169,524															
H27	169,524															
H28	562,529															
							🏰 (達成)									

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産基盤等の整備
基本事項 03	農業生産施設等の整備
基本事項 04	農業経営の安定確保

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標	認定農業者数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	人	324	360	374	→	☀ (向上)
評価	(状況) 認定農業者数は374人で、前年度に比べ14人増加しました。 (原因) 国・県の各種施策は農業担い手を重視したものに転換してきており、補助金や助成金などは認定農業者が要件となっているため、認定農業者は増加傾向にあります。						☀ (向上)
							目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事項01 多様な担い手の育成・確保

指標	担い手への農地利用集積面積	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	ha	1,541.6	1,789.1	1,864.8	→	☀ (向上)
評価	(状況) 担い手への農地利用集積面積は1,864.8haで、前年度に比べ75.7ha増加しており、担い手への農地の集積が進んでいます。 (原因) 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定が60.8ha増加しました。また、地域の農業問題を解決するために策定する「人・農地プラン」は、平成28年度に2地区(矢沢、西川)で策定し、また、既策定の5地区(松塚、仁井田2部、館ヶ丘、下江花、久保ノ内)で見直しがあり、農地中間管理機構を活用した農地の賃借が14.9ha増加したため、農地の集積が進みました。						☀ (向上)
							目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事項02 農林業生産基盤等の整備

指標	用排水路整備・改修延長 (行政区実施分+市実施分)	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	km	1.24	1.74	2.48	→	☀ (向上)
評価	(状況) 用排水路の整備・改修延長は2.48kmと、前年度に比べ0.74km増加しています。2.48kmの内訳は行政区実施分が2.34km、市実施分が0.14kmと大部分が行政区実施分です。なお、主な整備内容については、土側溝へのU字側溝の布設です。 (原因) 前年度と比較して、地元行政区からの用排水路整備の要望が増加したことなどによるものです。						☀ (向上)
							目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事項02 農林業生産基盤等の整備

指標	耕作放棄地面積	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
	【農政課】	ha	543	548	515	→	☀ (向上)
評価	(状況) 耕作放棄地面積は515haで、前年度に比べ33ha減少しました。また、市内の農地面積に占める割合は5.8%となっています。 (原因) 平成28年度は、荒廃農地調査により営農中の農地の確認が進んだことから大幅に減少しました。						☀ (向上)
							目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 多様な担い手の育成・確保

基本事項 02 農林業生産基盤等の整備

基本事項 03 農業生産施設等の整備

基本事項 04 農業経営の安定確保

基本事項02 農林業生産基盤等の整備

指標	農林道整備・改修延長 (行政区実施分+市実施分) 【農政課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		km	2.38	2.60	3.04	→	
評価	<p>(状況) 農林道整備・改修延長は3.04kmで、前年度に比べ0.44km増加しています。3.04kmの内訳は行政区実施分が2.38km、市実施分が0.66kmと大部分が行政区実施分です。なお、主な整備内容については、未舗装の農林道の舗装です。</p> <p>(原因) 前年度と比較して、地元行政区から農道整備の要望が増加したことによるものです。また、平成28年度から市の単独事業による農道整備を推進した結果、施工延長が増となりました。なお、農道整備は順調に進んでいますが、基準年の平成24年度に国の補助事業による大規模な農道整備事業が実施されたため、基準値(5.81km)と比較すると低下しています。</p>	目 標 達 成 度	■ ■ (中)				

基本事項02 農林業生産基盤等の整備

指標	基盤(ほ場)整備率 【農政課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		%	42.3	42.3	42.3	→	
評価	<p>(状況) 基盤(ほ場)整備率は42.3%で、横ばいで推移しています。なお、平成27年度から32年度にかけて前田川地区において、ほ場整備事業を行っています。</p> <p>(原因) 平成24年度の里ノ前地区のほ場整備事業完了以降は、ほ場整備率の大きな変動はありません。なお、現在整備中の前田川地区については、事業が完了していないため、整備率には含めていません。</p>	目 標 達 成 度	■ ■ (中)				

基本事項03 農業生産施設等の整備

指標	各種補助により生産施設を整備した件数 【農政課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	2	3	5		☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 各種補助により生産施設を整備した件数は5件で、前年度に比べ2件増加しています。なお、平成24年度基準値の4件から、実績値はほぼ横ばいです。</p> <p>(原因) 平成28年度は、県の補助事業によりキュウリのパイプハウス施設1件、ブドウ棚2件、品質向上や生産拡大を目指す施設2件を導入したことによるものです。</p>	目 標 達 成 度	■ ■ (中)				

基本事項04 農業経営の安定確保

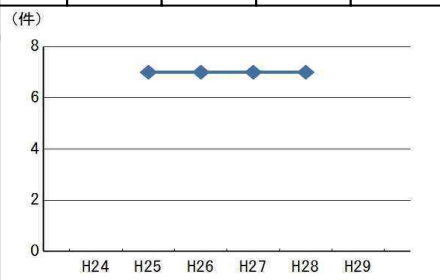
指標	有害鳥獣被害件数 【農政課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		件	6	7	8	→	
評価	<p>(状況) 有害鳥獣被害件数は8件で、前年度と比べ1件の増ですが、被害農地面積は97aで、前年度と比べ55a減少しています。</p> <p>(原因) 被害件数8件のうち4件がイノシシによる被害、また、4件がスズメによる被害です。被害農地面積が前年度と比べて減少しているのは、平成27年度から開始した電気柵設置への補助の効果と考えられます。</p>	目 標 達 成 度	■ ■ (中)				

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	多様な担い手の育成・確保
基本事項 02	農林業生産基盤等の整備
基本事項 03	農業生産施設等の整備
基本事項 04	農業経営の安定確保

基本事項04 農業経営の安定確保

指標	経営所得安定への補償・補てんメニュー数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
	評価	<p>【農政課】</p> <p>(状況) 経営所得安定への補償・補てんメニュー数は前年度と同じ7件で、メニューの内容の変更もありませんでした。今後は、利子助成メニューが徐々に終了するため、メニュー数は減少する見通しです。</p> <p>(原因) 水田を有効活用した転作や環境にやさしい米づくりに対し助成金を交付したり、資金借入者に対して利子を助成するなど、農業経営安定を図っていますが、今後は、国の米政策の転換に対応してメニュー内容の見直しを検討する必要があります。</p>	件	7	7	7	



政策 52 農林業の振興

施策 02 地域特産品の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民(農業者、消費者)	市産農産物等の安全性が広く認知され、農産物等の生産が拡大されています。

施策の成果状況と評価

指標	市産農産物等の売上額 (JA)	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【農政課】	千円	4,888,197	4,337,958	4,453,425	→
評価	<p>(状況) 市産農産物等の売上額(JA)は、4,453,425千円で、内訳は米穀1,685,943千円、園芸2,368,058千円、畜産399,424千円です。平成24年の基準値が米穀2,072,882千円、園芸1,933,248千円、畜産143,692千円で、比べると全体で303,603千円増加しています。</p> <p>(原因) 米穀関係の販売額は、各年産で販売単価が変動することと、前年産の在庫米が多くなった場合は、古米となり販売価格が、さらに低下するなど各年度の販売額が大きく変わることから、長期的に販売額の推移を観察しないと評価できません。園芸、畜産関係の販売額は、安全・安心の取組が進んだこと等により、消費者、実需者の需要が回復しているため、増加傾向にあります。</p>	<p>(千円)</p>					☀ (向上)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 農産物の生産振興

基本事項 02 消費拡大と販売強化

基本事項 03 安全・安心な農産物の提供

基本事項01 農産物の生産振興

指標	市場評価が高い農林畜産物の出荷量 (きゅうり、日本梨)	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【農政課】	t	6,583.8	6,554.6	6,576.0	→
評価	(状況) JAへの出荷量は、きゅうりが平成24年基準値の6,527.0tと比べて1,147.3t減の5,379.7t、日本梨が基準値881.9tと比べて314.4t増の1,196.3t、合計では832.9t減の6,576.0tとなり、成果が低下しています。しかし、前年と比べると全体で21.4t増加しています。市全体の農家戸数、作付面積は、横ばいのため市全体の出荷量状況は横ばいと考えられます。 (原因) きゅうりは、高齢化による農家戸数、作付面積の減少に伴い生産量及び出荷量も減少したと考えられます。日本梨は、原発事故の風評被害により直売からJAへの出荷に切替農家が増加したことから、JA出荷量は増加しました。						(横ばい) 目標達成度 (中)

基本事項02 消費拡大と販売強化

指標	県外等における農産物PR物産展の売上額	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【農政課】	円	4,325,077	5,319,636	3,644,551	→
評価	(状況) 県外等における農産物PR物産展の売上額は3,644,551円で、前年度に比べ約31.5%低下しました。平成24年度基準値の4,748,440円と比べても約23.2%低下しています。実績は天候不良による来場者数の減少やイベント中止などの理由で各年度によって増減があります。 (原因) 本市と友好都市等の行事やイベント開催日の重複や国内最大級の観光キャンペーンDCが昨年6月で終了したため前年度の32回(58日間)から26回(47日間)と農産物PRができる物産展が減少したことが要因であると考えます。						(低下) 目標達成度 (低)

基本事項02 消費拡大と販売強化

指標	はたけんぼの売上額	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【農政課】	千円	1,048,814	1,088,960	1,117,349	→
評価	(状況) はたけんぼの売上額は1,117,349千円で、平成24年度基準値の962,102千円と比べ約16.1%、前年度と比べ約2.6%向上しています。震災直後は出荷制限や地元農産物に不安を持つ市民の買い控え等が見られましたが、売上回復の兆しが見られます。 (原因) 自主検査施設の設置や検査結果の公表など、安全・安心の取組が進み、地元農産物の安全性に対する消費者の理解が進んだことと、はたけんぼが購買意欲を喚起するイベントによる情報発信などの取組を積極的に展開したことによるものだと考えられます。						(向上) 目標達成度 (高)

基本事項03 安全・安心な農産物の提供

指標	放射性物質濃度検査における基準値を超えた検体の占める率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【農政課】	%	1.56	0.98	1.07	→
評価	(状況) 放射性物質濃度検査における基準値を超えた検体率は1.07%で、平成24年度基準値の3.37%と比べると2.30ポイント減少していますが、前年度と比べると0.09ポイント増加しています。 (原因) 原発事故から5年経過しているため、検査で基準値を超えた検体は、出荷販売用以外の山のきのこ、山菜、イノシシ肉等の品目のみで、出荷販売用の野菜、果樹等からは基準値を超えた検体は検出されませんでした。しかし、安全が確認されている検体が増えることにより、全体の調査受付件数が前年度より961件減少したため、放射性物質濃度検査における基準値を超えた検体の占める率が高くなったことによるものです。						(向上) 目標達成度 (中)

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 農産物の生産振興

基本事項 02 消費拡大と販売強化

基本事項 03 安全・安心な農産物の提供

基本事項03 安全・安心な農産物の提供

指標	米の全袋検査で25bq/kgを超えた袋数 【農政課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき										
		袋	29	7	9	➔											
評価	<p>(状況) 米の全袋検査で25bq/kgを超えた袋数は、前年度より2袋増加し9袋です。これは平成28年度検査総数に占める割合の0.0011%となっており、市内で生産された米の安全性が確保されています。なお、25bq/kgを超えた9袋はすべて50bq/kg未満であり、厚生労働省が定める一般食品の基準値100bq/kgを下回っています。</p> <p>(原因) 塩化カリ肥料の配布及び農業者に対する周知啓発活動など放射性物質の吸収抑制対策の成果が表れているものと考えられます。</p>	<p>(袋)</p> <table border="1"> <caption>実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (袋)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (袋)	H25	29	H26	7	H27	9	H28	9	☀ (向上)
		年度	実績値 (袋)														
H25	29																
H26	7																
H27	9																
H28	9																
						目標 達成度	■■■ (高)										